

行事報告

明行寺にて、2月20日に「永代経法要」、3月17日に「春季彼岸会法要」が勤まりました。御講師は本願寺派布教師、佐々木高彰師（熊本県山鹿市 常法寺ご住職）、小山坦道師（福岡県 糸島市 教念寺ご住職）をお迎えしました。「目には見えないけれど、確かにある阿弥陀様のおはたらき」について、実生活の気づきを交えながら、優しくお話し下さいました。また両法要とも、おまかないの皆さまのご協力により、手作りのお齋が振る舞われました。肌寒い気候ではありましたが、彩り豊かなお野菜を用いたお齋が準備された門徒会館には、春の香りが立ち込めておりました。皆さまお忙しい中、ようこそのお参りでございました。

仏教婦人会、門徒会について

上記記載の「彼岸会法要」は春季、秋季共に、仏教婦人会の皆さまが主催下さっております。この度「春季彼岸会」では、婦人会の決算報告が行われました。その後、7年半に渡りご尽力下さいました仏教婦人会会長、猿本和代様より退任のご挨拶を頂きました。

「会長の任期を通して、近隣のお寺さんとの繋がりが出来ました。また今年は若院夫婦の結婚披露も行われ、皆様とお祝いすることができ、印象深い経験でした。皆さまのお陰により無事勤めることが出来ました。本当にありがとうございました。」（猿本様ご挨拶抜粋）

猿本様はじめ、役員の皆さまには本当にお世話になりました。どうぞ引き続き明行寺を盛り上げて下されば幸いです。新会長の龍ハツミ様、新役員の皆さま、改めてよろしくお願い致します。

またこの度、3月28日門徒会総会をもちまして、門徒会会長、境輝雄様が退任され、田中晴美様に会長を引き継いで頂くこととなりました。新役員 of 皆さまも改めてご紹介致します。この場をお借りし、重ねて御礼申し上げます。



婦人会の皆様。清掃作業後、快晴の境内で一息



H29年度婦人会役員 of 皆様。

下段左2番目が龍様、下段左3番目が猿本様



彩り豊かな春らしい「お齋」



御講師 of 小山坦道先生

今後の予定（3～5月）

ご家族、ご友人お誘い合わせの上、どうぞお参り下さいませ

3月28日（水）	15時～	門徒会総会@明行寺（講中のみ）
4月14日（土）	13時～	元中通り組蠟燭講　ご消息披露法要@伝敬寺
4月28日（土）、29日（日）	13時～	元中通り組蠟燭講　降誕会法要@西教寺
5月8日（火）	11時～	花祭り@明行寺
同日	13時～	元中通り組蠟燭講　ご消息披露法要@明行寺

「明行寺新聞」（本誌）について

2018年2月に第1号を発行した寺報「明行寺新聞」ですが、隔月で発行していく予定です。

「新聞読みました」「分かりやすい仏教のお話があれば良いと思います」といった嬉しいお声を頂いております。「こんな事を掲載して欲しい」「実家にはいない家族の所にも送って欲しい」等ご意見、ご要望お待ちしております。寺報だけでなく、仏事やお寺についてもお気軽にお声掛け下さいませ。

== コラム「浄土真宗の御本尊（ごほんぞん）は何ですか？」 ==

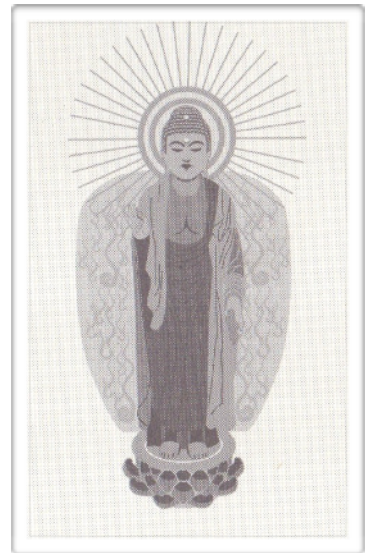
浄土真宗のお寺にご安置（あんち）されている仏さま（ご本尊）は、阿弥陀如来です。

阿弥陀如来は、はかり知れない光（無量光）と、はかり知れない永遠のいのち（無量寿）をそなえられた仏さまです。すべてを照らす光と大いなるいのちが、願いをこめて私たちにはたらきかけられています。

阿弥陀如来は、法蔵（ほうぞう）という名の修行者（菩薩）であったときに、「必ず一切のいのちを救う、そうでなければ仏にならない」という願いを起こされました。なぜ、この願いをおこされたのでしょうか。それはここに苦しみ悩み傷つけ合う私たちがいるからです。

私たちは自らの力では決して苦しみから逃れ、迷いの世界を抜け出すことはできません。そのような私たちを救うために法蔵菩薩は願いをおこされたのです。この願いが完成（成就）して、法蔵菩薩は阿弥陀如来になりました。

ご本尊は、阿弥陀如来のはたらきを「形」として表現されたものです。絵像や「南無阿弥陀仏」の六字の名号本尊も同じことを意味しています。



前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。武蔵野大学仏教文化研究所研究員、通信教育学部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことば—やさしい法話—』（本願寺出版社）がある。明行寺若院が神奈川県上正寺に勤めていた際、勉強会等でお世話になった恩師。